

②造成等の施工による一時的な影響

ア)土地の改変による個体の消失

造成等の施工による一時的な影響は、造成等の施工に伴う土地の改変区域と重要な種の確認地点との重ね合わせにより、土地の改変に伴う個体の消失による重要な種の生息・生育状況の変化を予測した。

予測手順は図-6.10.2(1)に示すとおりであり、重ね合わせの結果、改変区域内で確認され、土地の改変により個体が消失することが考えられる重要な種については、沖縄県内及び石垣島内における分布の状況、改変区域内外の確認状況を基に、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれの程度を以下のとおり予測した。

まず、国外、国内、沖縄県での分布状況を既存文献から把握し、次に石垣島における分布状況及び個体数を既存文献、平成元年などの既存調査結果及び現地調査結果から、石垣島内の生息・生育状況ランクを以下に示すA、B、Cの3ランクに区分した。基本的に、A及びBランクに分類された高い重要度を有する可能性のある種については、消失する個体数に拘わらず個体群が存続できないおそれがあるものと判断した。

Aランク:分布や個体数が限られ、特に保護の必要性が認められる種(分布・個体数双方が少ない種や、局部的に分布するか或いは個体数の極めて少ない種)。法的規制種。

Bランク:分布が限られるか、もしくは個体数が少ない種。また、分布や個体数の双方がやや限られる種。法的規制種。分布や個体数情報が不明であり念のため保全に努める必要性の認められる種

Cランク:Aランク及びBランクに該当しないその他の重要な種

また、事業実施区域周辺における分布状況を平成13・14・15年度調査結果における確認個体数から計数し、改変区域内外で比較を行い、改変区域外で多数確認されている場合や、改変区域内外が同程度の生息状況で改変区域外に多数の生息が認められる場合については、個体群が存続できないおそれは小さいと判断した。